

店舗一覽

明石市中央部	本店	明石市本町2-3-20	078(912)4567
	駅前支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
	丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
	林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431

明石市西部	西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
	市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
	大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
	江井ヶ島支店	明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623
	魚住支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
二見支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221	

加古川市・高砂市・播磨町	加宝本支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066
	古殿支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711
	莊支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270

三木市・小野市・加東市	三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
	緑が丘支店	三木市緑が丘町東2-9-1	0794(84)1231
	小野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
	天滝支店	加東市天神492	0795(47)1011
滝野支店	加東市上滝野2413	0795(48)2010	

神戸市東部	本魚六支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
	山崎支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-6	078(411)3281
	甲支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
	灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431

神戸市中央部	神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
	栄支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
	宇治川支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
	兵庫支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
	平野支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001	

神戸市北部	鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-20	078(591)1221
	ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
	藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489

神戸市西部	垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
	舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
	伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
	玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110

西宮市	西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489
-----	--------	--------------	--------------

〈にっしん〉

最新の決算 ミニガイド

We will make a fresh step everyday.



彫画:伊藤 太一

◆2016年5月◆



フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
0120-15-2489

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで

URL <http://www.nisshin-shinkin.co.jp/>



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

国内経済は、全体的には緩やかに回復しているものの、ここにきて景気の足踏み状態が鮮明になってきています。中小企業をとりまく環境は依然として厳しく、資金需要は低迷しています。年明け以降、原油安や、新興国の先行き不透明感から株安・円高が進み、世界的に金融市場が混乱する中、日本銀行は物価上昇率2%の達成に向け2月にマイナス金利政策を導入しました。しかしながら、個人消費の停滞が長期化するなど、景気の先行き不透明感は払拭するに至っておりません。

さて、当庫の平成28年3月末現在の預金残高は6,905億円、貸出金残高は3,033億円となりました。金利水準が低下する中、当期純利益は1,223百万円計上することができました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.98%と十分な水準にあります。

決算概況を次ページ以降にグラフを用いて分かりやすくまとめてみましたので、ご一読いただければ幸いです。

平成28年度は、中期3カ年事業計画「つなぐ力～地域と共に繁栄する信用金庫を目指して～」の中間の年であります。収益環境が厳しさを増す中にあっても〈にっしん〉は「お客様第一主義」を旨として、「お役に立ち、信頼される信用金庫」として地域の持続的発展に向けて一層貢献してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年5月

〈にっしん〉は便利になりました。

- 平成28年1月18日(月)から、ATMのご利用時間が8:00～21:00までとなりました。平日・休日にかかわらずご利用いただけます。
※〈にっしん〉キャッシュカードによる当庫ATMでの入出金は手数料無料でご利用いただけます。
※店外ATM(出張所)のご利用時間については、〈にっしん〉へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
フリーダイヤル(0120-15-2489)
- 平成28年1月29日(金)、ピオレ明石東館リニューアルオープンに併せてATMコーナーを設置しました。

ピオレ明石東館ATMご利用時間 9:00～21:00

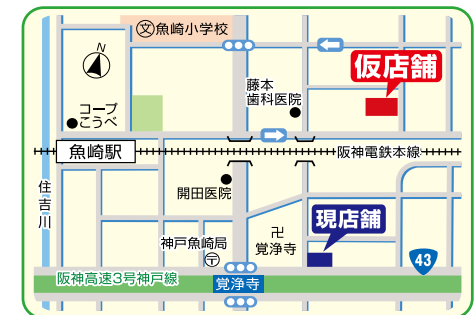
- 平成28年1月1日(金)から、インターネットバンキングサービスのご利用時間が8:00～21:00までとなりました。平日・休日にかかわらずご利用いただけます。

絆(地域とともに持続的発展を)

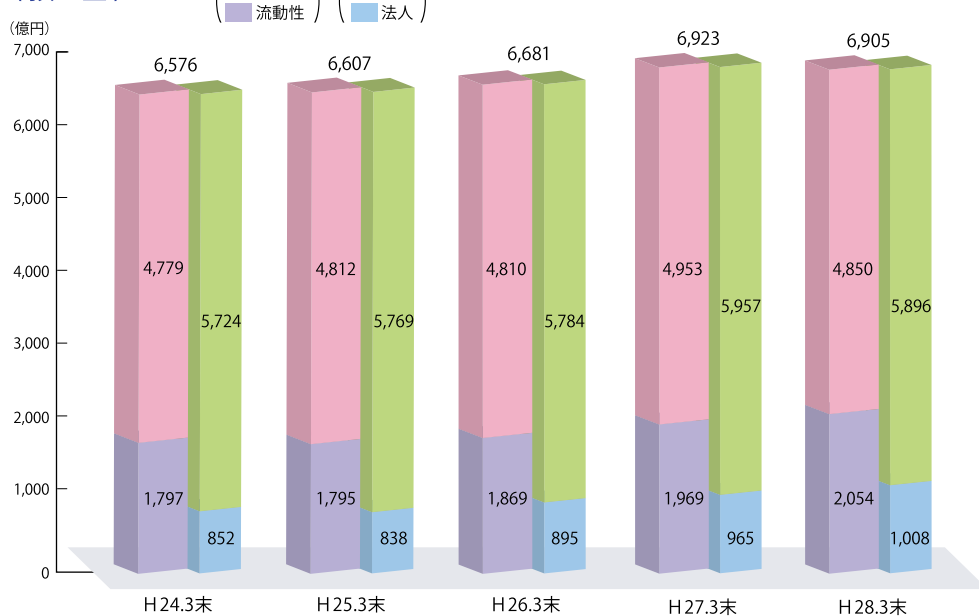
- 事業承継セミナーを開催(明石地区、三木地区、神戸地区) 全7回 (H28.1～H28.2)
- ビジネスマッチングフェア2016に参加 (H28.3)
- 2015(平成27)年度にっしん経営塾を開催(明石地区) 全6回 (H27.6～H27.12)
- 【明石市子育ておうえん定期預金】の取扱い。(明石市内の10店舗) (H27.8～H28.1)
*定期預金残高の0.01%相当額を明石市の「明石市子ども基金」へ寄付し、「子ども夢文庫」等の運用に活用していただきました。
- 第51期リフレッシュサロン開講 全6回 (H27.10～H28.3)
- 【子育て応援定期積金(夢すくすく)】の取扱い。(H27.10～)
- 第7回明石公園リレーマラソンに特別協賛し金庫選抜7チームが参加。(H27.11)
- ヴィッセル神戸サッカークリニックに特別協賛。
「ヴィッセル神戸サッカークリニック」を明石の大蔵海岸多目的広場フットサルコートで開催。
*約120名のサッカー大好きな少年少女が、ヴィッセル神戸の現役Jリーガーと触れ合い、スクールコーチの指導を受けました。(H27.11)
- 【ラジオ関西に番組協賛(地域の商店紹介のスポンサー)】(H27.10)

店 舗

- 江井ヶ島支店 平成28年3月7日 江井ヶ島支店新築移転開設
- 魚崎支店 平成28年7月11日 魚崎支店は現地建替えに伴い仮店舗で営業します。



〈預金〉



【預金】

平成28年3月末の預金残高は6,905億円となり、前年度末対比で17億円の減少となりました。金利低下の影響によってお客様のご期待に沿うことが出来ず、定期性預金は前年度末対比103億円の減少となりましたが、その一方で普通預金などの流動性預金は前年度末対比で85億円の大幅な増加となりました。

これからも多くのお客様に日常のお取引口座として利用していただける信用金庫を目指してまいります。

【貸出金】

平成27年3月末に3期ぶりに3,000億円台を回復した貸出金は、平成28年3月末においても前年度末対比プラスで推移しています。昨年度まで減少していた保証協会保証付融資も増加に転じています。

兵庫県内の企業業況判断は、平成27年3月末対比で悪化傾向にあり、先行きは見通しにくい状況にあります。また、平成28年2月に実施されたマイナス金利政策は、市場金利や貸出金利回りの低下を招き金融機関の経営に大きな影響を及ぼすものと考えられます。

金融市場を取り巻く環境は刻々と変化していますが、<にっしん>は地域金融機関としての使命を着実に果たし、地域のお役に立ち、地域の共感をえられるよう努めてまいります。

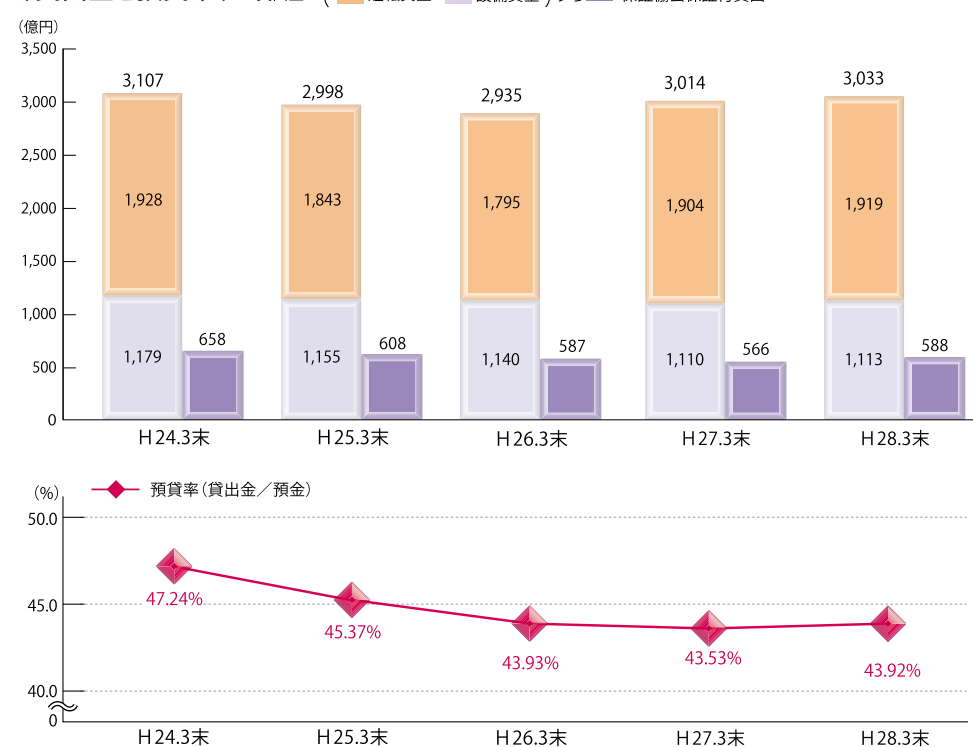
【業種別構成比】

貸出金における業種別構成比において比率順内訳は、不動産業、卸売業・小売業・飲食業、製造業、建設業、医療・福祉業の順となっています。特に平成26年度において4期ぶりに増加した建設業については、平成27年度においても増加しています。

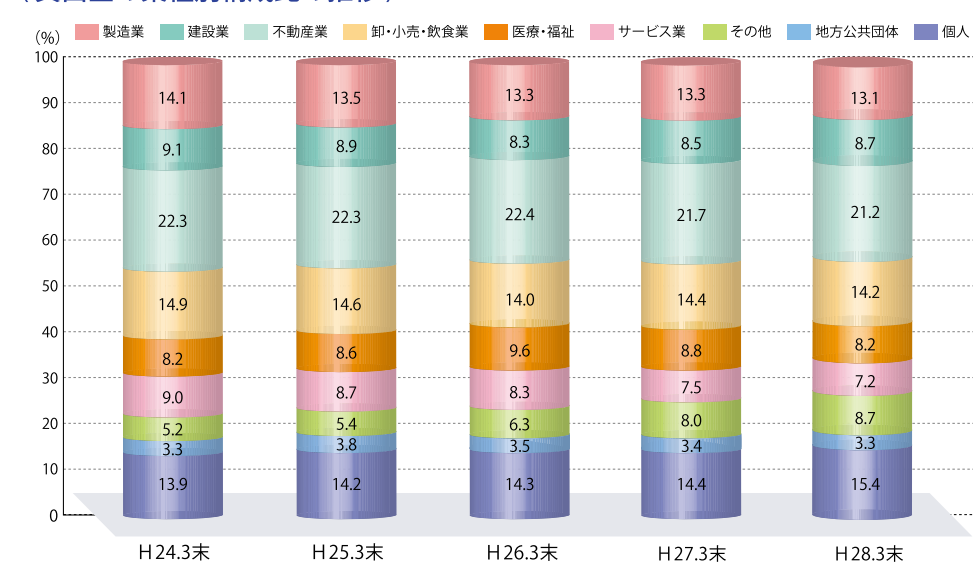
また個人向け貸出金は、住宅ローンの年間取組額がここ数年順調に推移しており、毎年増加傾向にあります。

<にっしん>は、これからも地域の皆様のライフステージにあったお手伝いをさせていただきます。

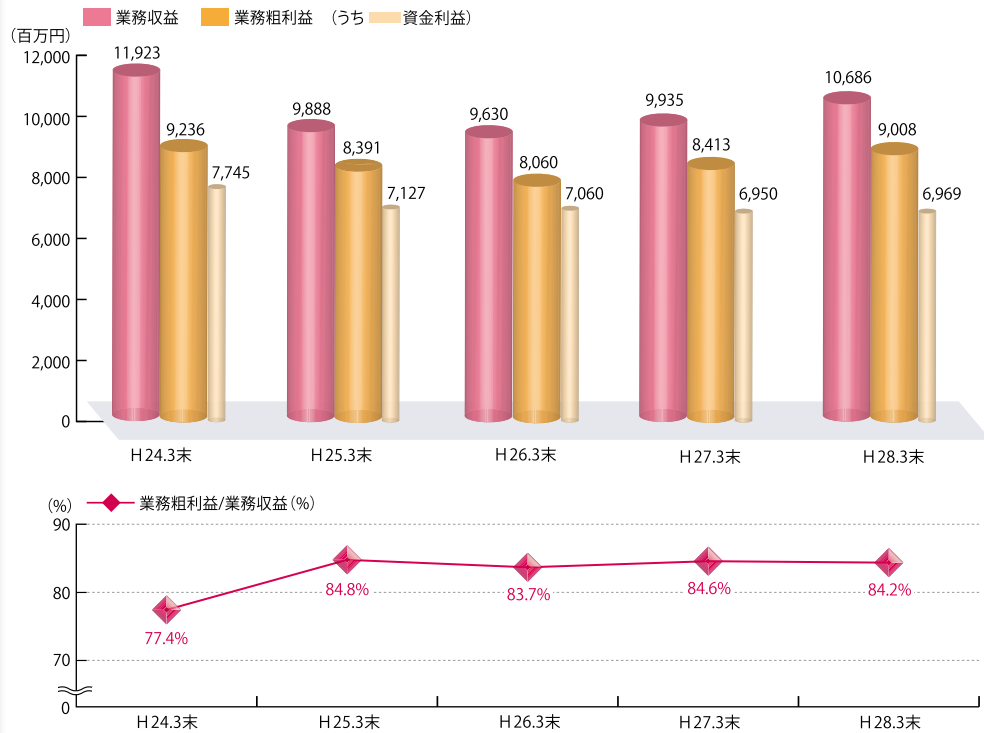
〈貸出金と預貸率〉



〈貸出金の業種別構成比の推移〉

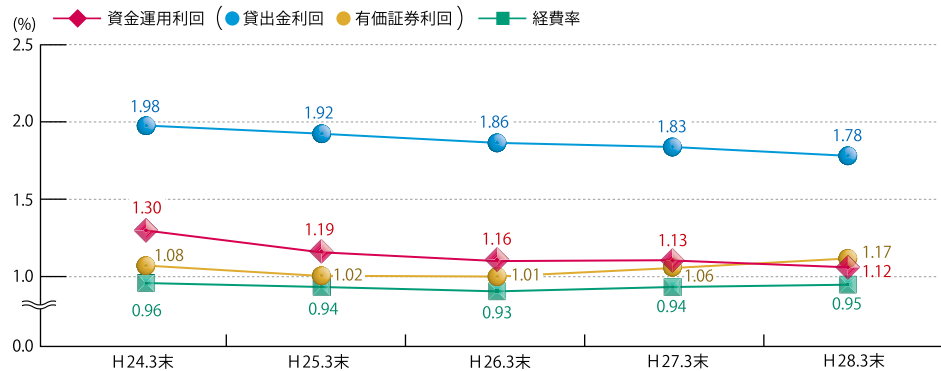


〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉

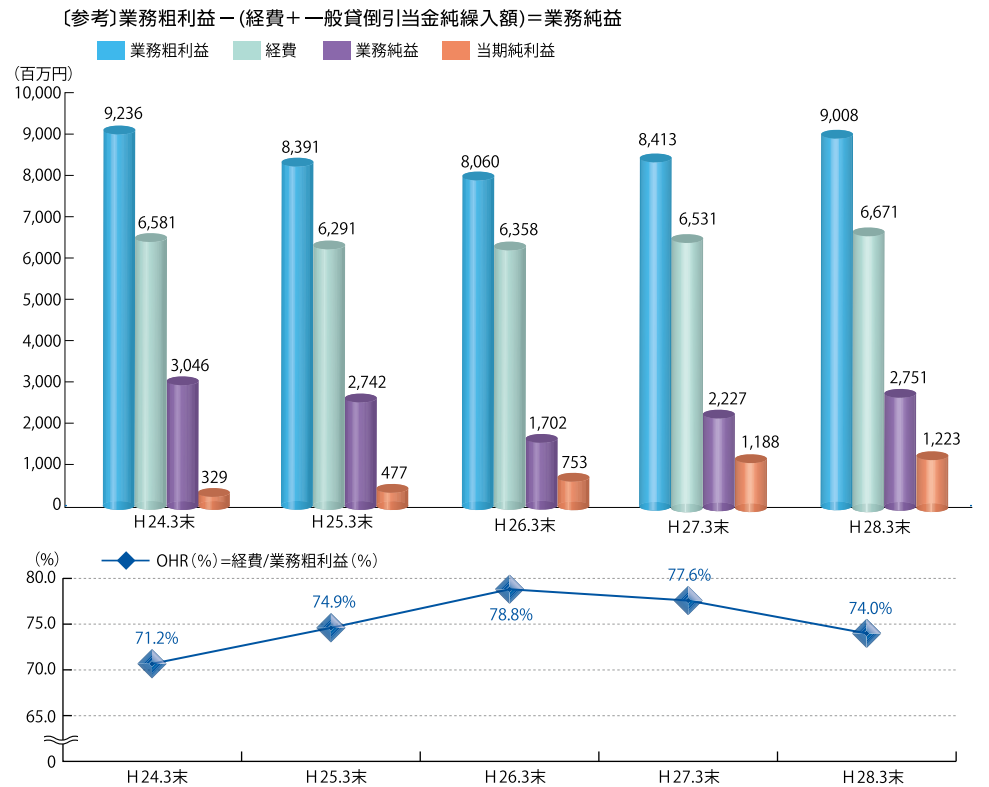


一般企業の売上に当たる業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役員取引収入等)は、有価証券売却益が寄与し、前年度に比べて751百万円の増収となりました。業務粗利益(業務収益-預金利息等の原価)は、業務収益が増加したことから前年度に比べて595百万円の増益となりました。資金利益は金利競合や市場金利の低下によって貸出金利息収入の減少や預け金利息収入が減少したものの、有価証券利息収入が増加したことから前年度に比べて19百万円の増加となりました。

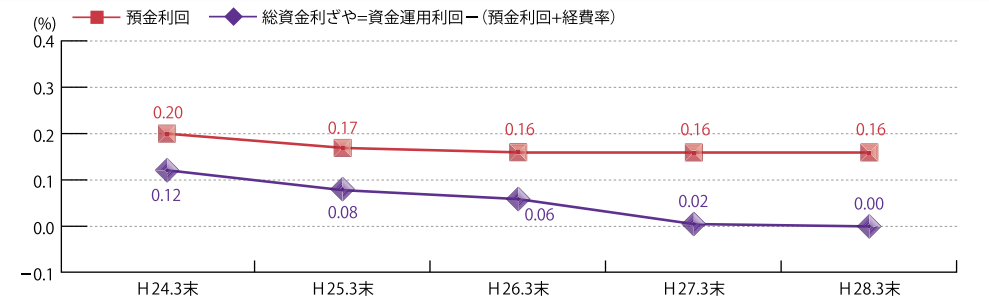
〈資金運用利回(貸出金利回+有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや〉



〈業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益-経費等)、当期純利益〉



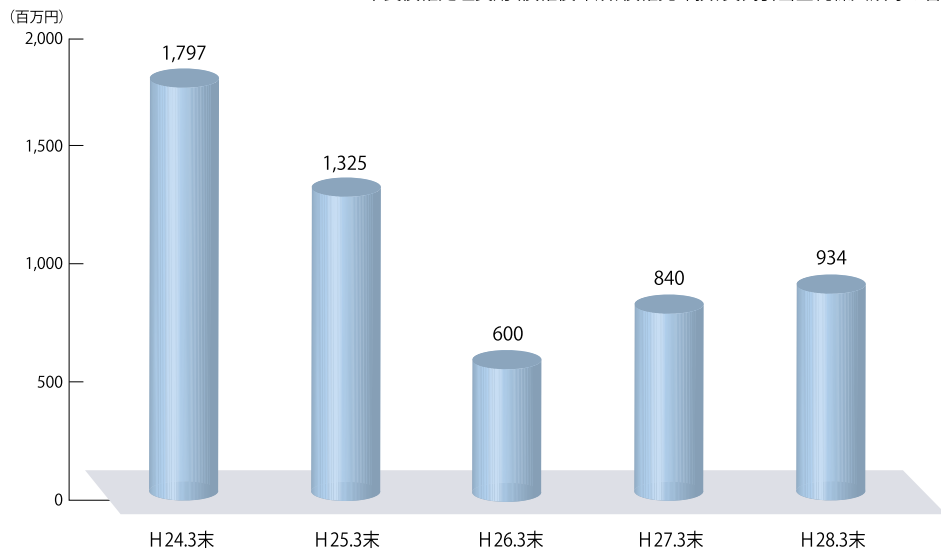
経費については、しんきん共同センター移行に関する費用の増加により前年度に比べて139百万円増加したものの、業務粗利益の増加により、業務純益は前年度に比べて523百万円の増加となりました。当期純利益は、前年度に比べて34百万円増加しました。



有価証券利回は外国証券や投資信託への投資を増加させたことにより上昇しましたが、貸出金利回は依然として低下傾向にあります。資金運用利回は前年度末に比べて低下しました。預金利回りは下げ止まり、しんきん共同センター移行に伴う経費の増加により経費率が微増となり、総資金利ざやは0.00%となりました。一層、収益力の向上に努めてまいります。

〈貸出金にかかる不良債権処理費用等〉

*不良債権処理費用(債権償却額、債権売却損、貸倒引当金純繰入額等の合計)



貸出金にかかる不良債権処理費用とは、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金純繰入額、債権償却額等の合計です。すなわち、将来の発生を見込んで現時点で算定した損失見込額及び回収不能となって確定した損失額の合計額です。

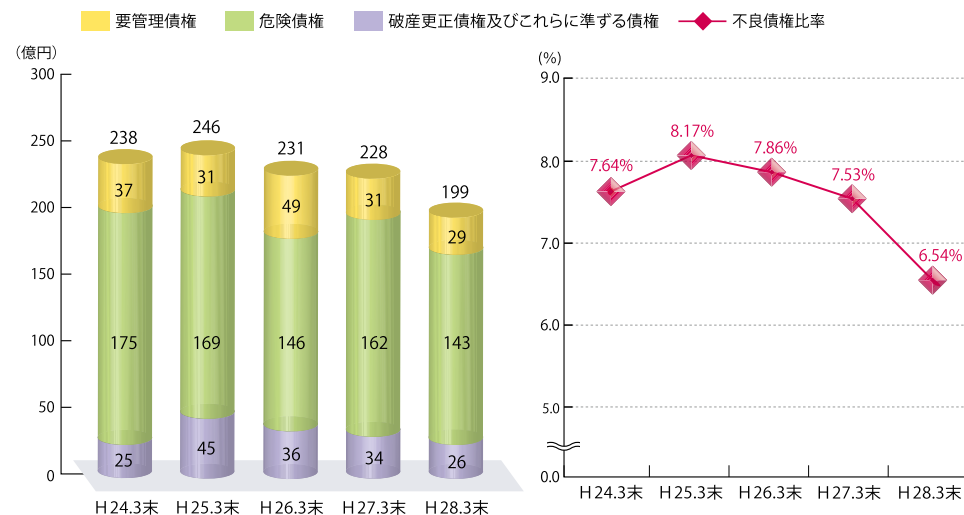
平成28年3月期の不良債権処理費用等は前年度に比べ94百万円増加しました。これは、27年度も目立った不良債権の発生はありませんが、金庫の健全性を高めるために不動産鑑定による担保評価掛目の見直しと、危険債権に対する引当率の引き上げによって積極的に引当金の積み増しを行なったことによるものです。

今後も貸出債権の不良化を防ぐため、経営改善支援や融資審査などの強化に全力で取り組むと同時に、将来のために引当も十分行なってまいります。

〈不良債権(要管理先を除く)の保全状況〉

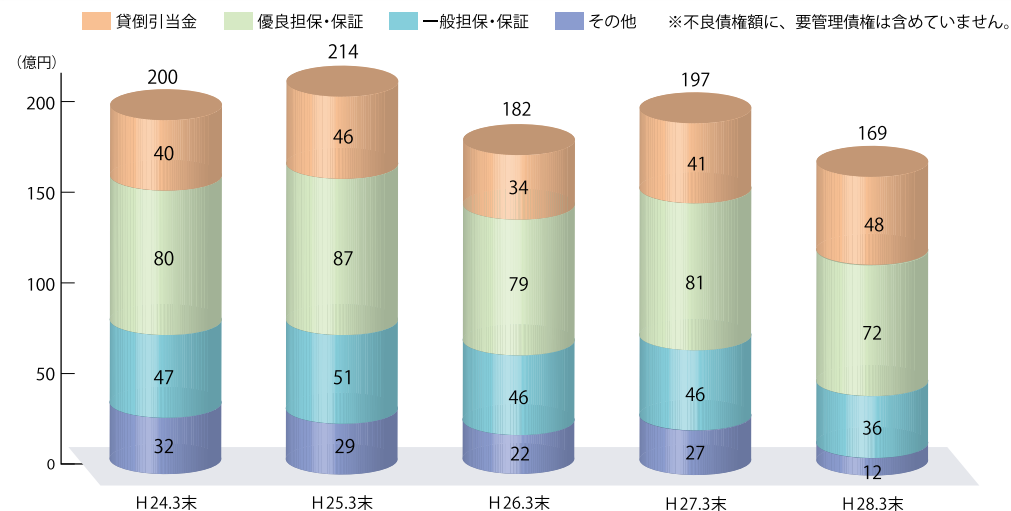
平成28年3月末現在の不良債権(要管理債権を除く)は169億円ありますが、その保全状況は右の通りです。貸倒引当金は48億円積んでいます。会計上48億円は損失処理済といえます。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が72億円、一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている額が36億円、合わせて108億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの12億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

〈不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率〉

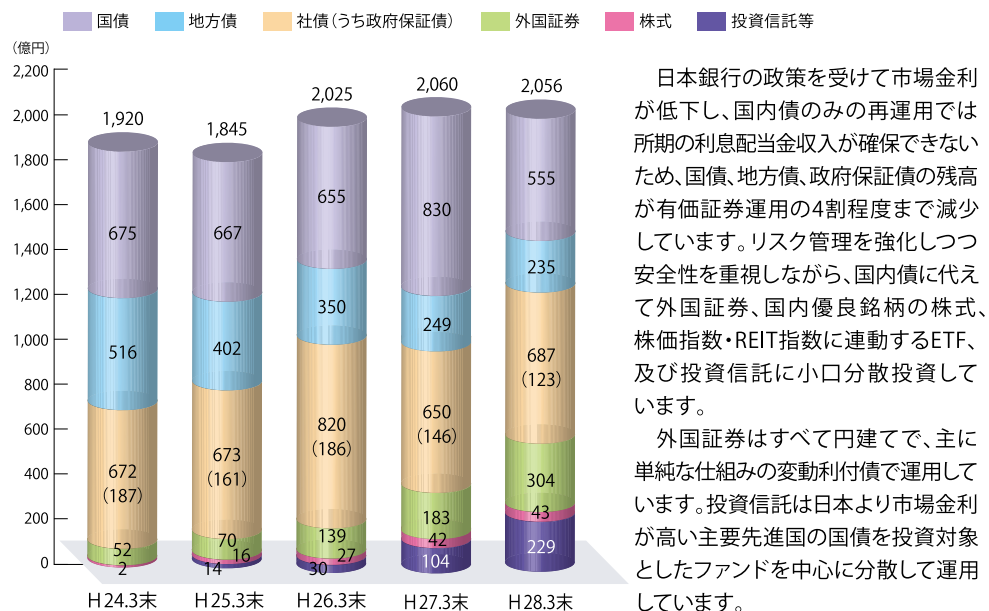


不良債権は、要管理債権、危険債権及び破産更生等債権に分類されます。

平成28年3月末の不良債権残高は199億円となり、平成27年3月末に比べて29億円減少しました。また、平成28年3月末の不良債権比率は6.54%と前年度と比べて大きく低下しました。これは目立った不良債権の発生がなかったことと、積極的に不良債権の処理を進めていることによるものです。



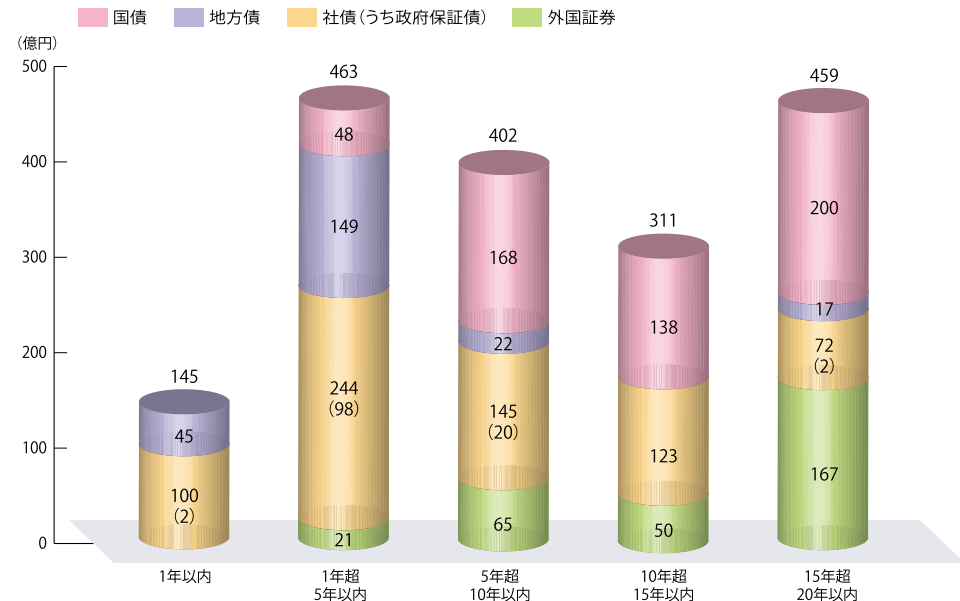
〈有価証券の種類別保有状況(期末残高)〉



日本銀行の政策を受けて市場金利が低下し、国内債のみの再運用では所期の利息配当金収入が確保できないため、国債、地方債、政府保証債の残高が有価証券運用の4割程度まで減少しています。リスク管理を強化しつつ安全性を重視しながら、国内債に代えて外国証券、国内優良銘柄の株式、株価指数・REIT指数に連動するETF、及び投資信託に小口分散投資しています。

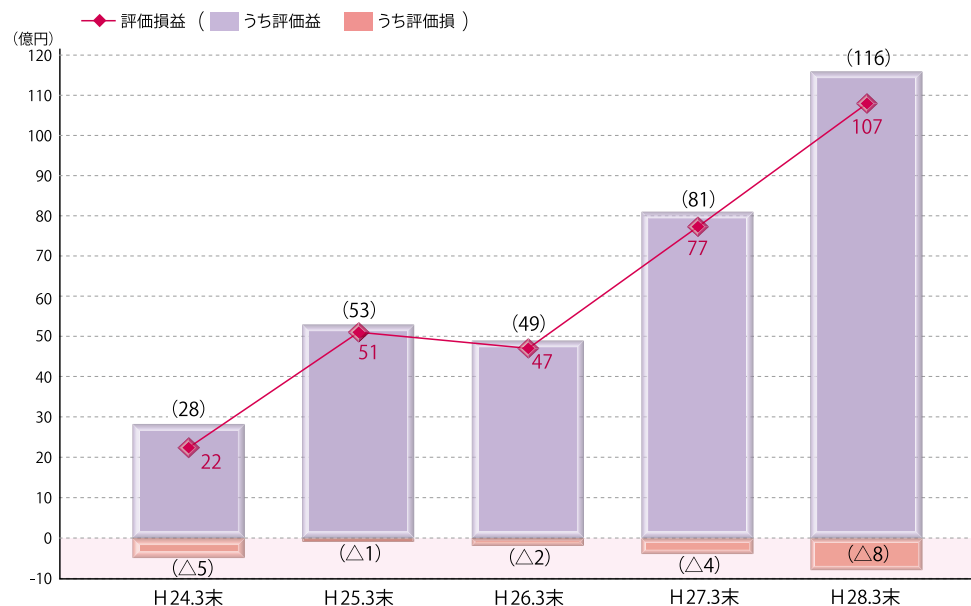
外国証券はすべて円建てで、主に単純な仕組みの変動利付債で運用しています。投資信託は日本より市場金利が高い主要先進国の国債を投資対象としたファンドを中心に分散して運用しています。

〈債券(償還までの期間別に見た残高 平成28年3月31日現在)〉



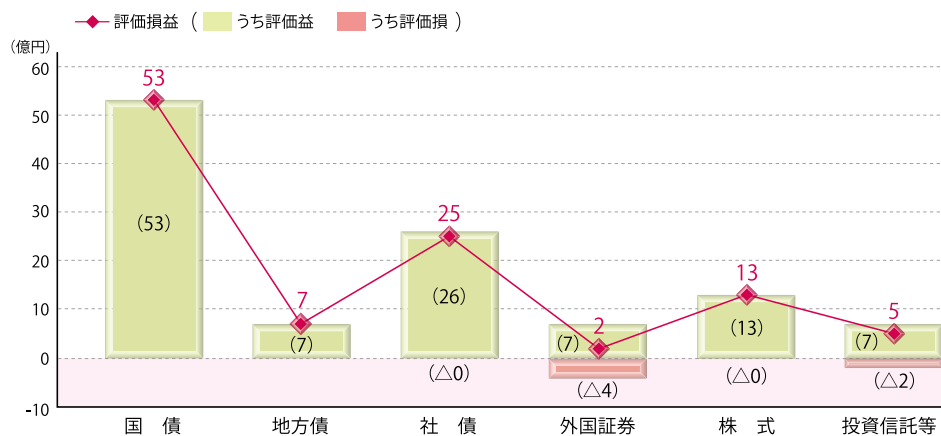
有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したものです。収益向上のため、期間10年超20年以内の国債、社債、外国証券にも投資しています。

〈有価証券の評価損益の推移〉



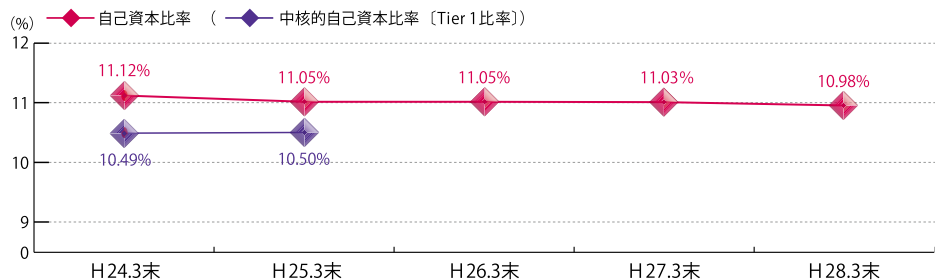
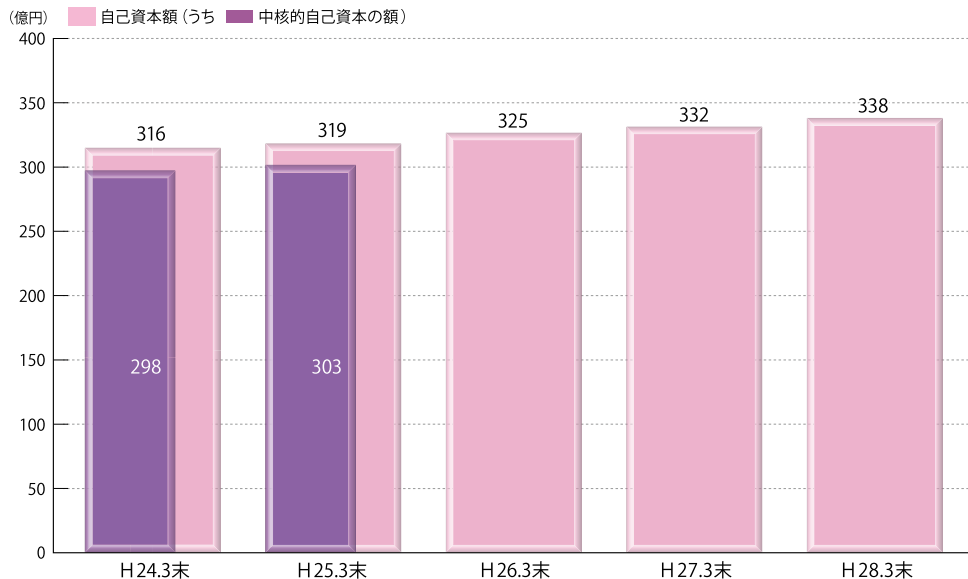
平成28年3月末現在、有価証券の評価益は116億円、評価損は8億円です。有価証券全体で差引107億円の評価益となっています。

〈有価証券の種類別の評価損益(平成28年3月31日現在)〉



平成28年3月末現在の有価証券の種類別評価損益を示したグラフです。社債、外国証券、株式、投資信託等で評価損がありますが、すべての種類で評価損益はプラスとなっています。

〈自己資本と自己資本比率(信用金庫単体)〉



(億円)

	H24.3末	H25.3末	H26.3末	H27.3末	H28.3末
リスクアセット	2,845	2,887	2,946	3,011	3,082

自己資本比率は、平成28年3月末で10.98%となりました。

当庫の自己資本比率は国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えています。

これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

なお、自己資本比率の算出方法を定めた基準(平成18年金融庁告示第21号)が平成25年3月8日に改正され、平成24年度以前は旧告示に基づく開示、平成25年度以降は新告示に基づく開示を行なっています。それにより、平成26年3月期から中核的自己資本比率は記載していません。

江井ヶ島支店 新築移転感謝デーを実施しました!



感謝デー実施日 平成28年3月7日・8日

感謝デーを実施いたしました!

林崎支店 開店30周年

ひよどり台支店 開店40周年

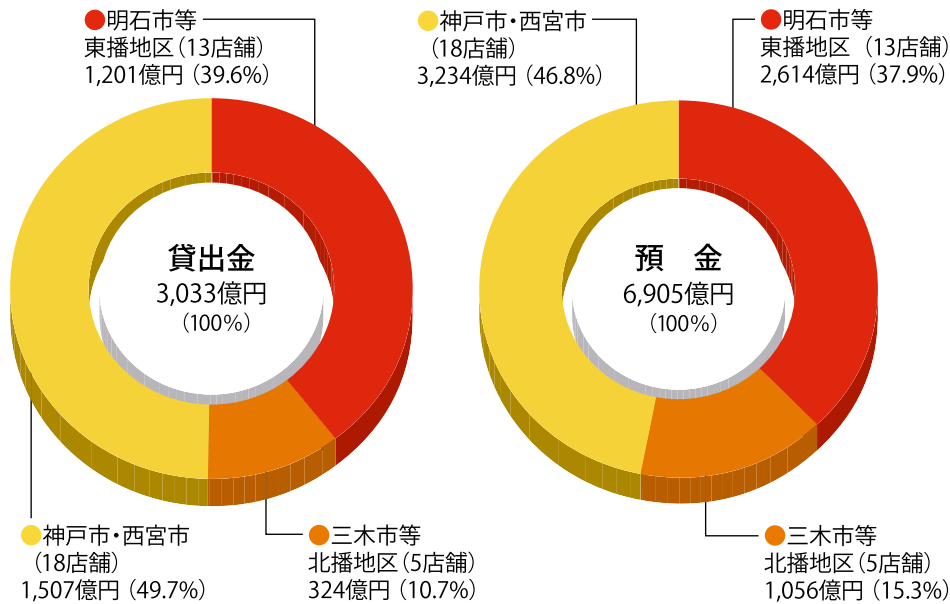


(感謝デー実施日 平成27年12月15日・16日)



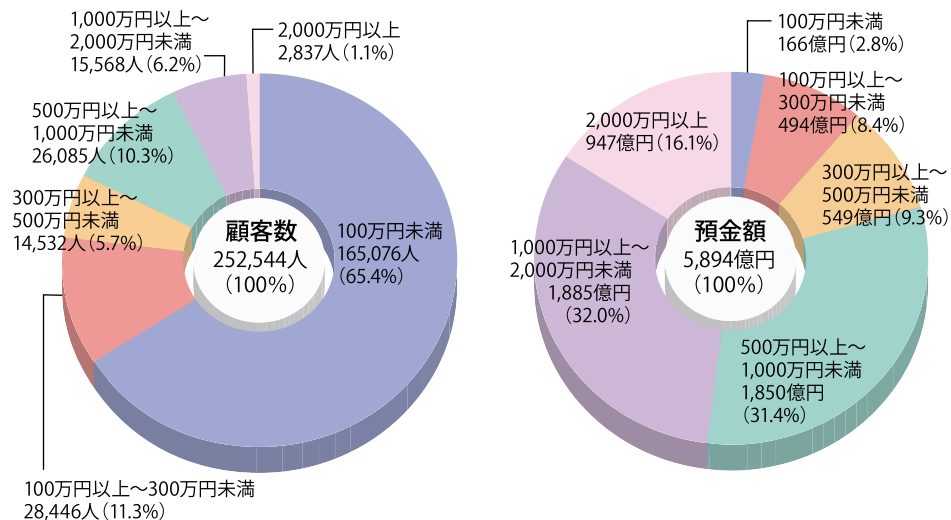
(感謝デー実施日 平成27年12月17日・18日)

〈貸出金・預金の地域別構成〉 (平成28年3月31日現在)

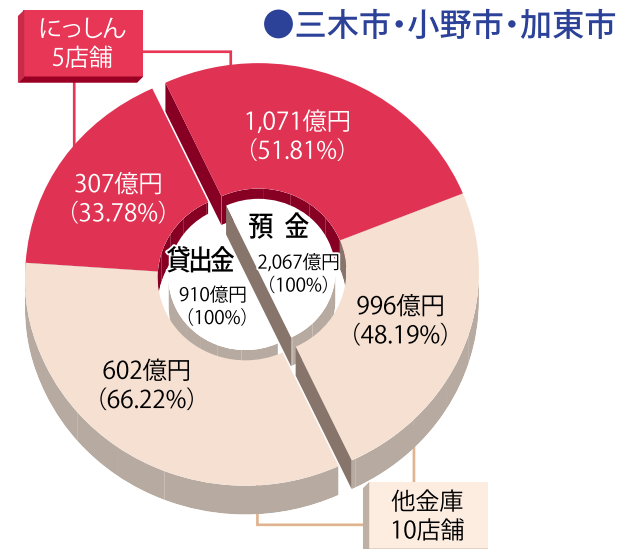
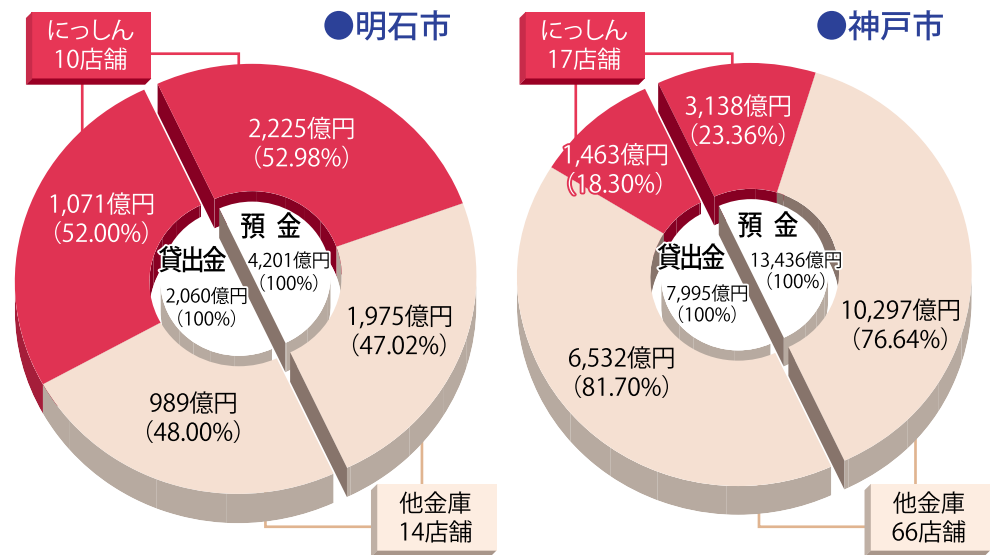


〈預金者のプロフィール〉

〈個人預金の残高階層別にみた顧客数と預金額〉 (平成28年3月31日現在)



〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉 (平成27年9月30日現在)



※その他地区(加古川市・高砂市・播磨町・西宮市)預金585億円、貸出金172億円。